

第378回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和5年12月22日

閉会に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

このたびの市議会定例会におきましては、11月28日の開会以来、25日間にわたり、条例改正や各会計補正予算など多数の重要案件について、ご審議をいただきました。

この間、議員の皆さまにおかれましては、終始ご精励を賜り、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なるご審議を尽くされましたことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

さて、令和7年春の開駅を目指し、山田錦の郷において整備を進めている道の駅の名称が、「道の駅 よかわ」に決定しました。全国から661点の応募をいただいた中から、「よかわ活性化委員会」、「道の駅名称選考委員会」の審査を経て、選定されたものです。名称決定により、道の駅開駅への機運がさらに高まり、地域の方々の期待も強く感じているところです。日本一の山田錦

の産地のシンボル施設である山田錦の館を含む一帯の活性化に向けて、道の駅の整備を引き続き進め、農業振興等の地域課題の解決につなげるとともに、市民の交流や賑わいの場とし、地域活性化の拠点となるよう進めてまいります。

また、来年7月1日に、三木市は市制施行70周年を迎えます。市制施行70周年という記念すべき節目の年を、市民の皆さまと一緒に祝い、盛り上げたいと考えております。本年においては、市制施行70周年に向けての機運醸成を図るため、取組を進めています。まず、市制施行70周年記念ロゴマークについては、全国から147点の応募をいただき、一般投票を行いました。今月26日に、決定したロゴマークを発表する予定としています。決定したロゴマークについては、市制施行70周年のPRに活用してまいります。また、事業者や団体とともに市制施行70周年をお祝いするため、広報・PR活動、市が実施する記念事業への協賛・協力、市制施行70周年に関する事業やキャンペーンの実施など、幅広く協力いただける団体・事業者を募集しています。さらに、70周年にちなみ、来年7月1日までの70日間、市民や団体、事業者、市にゆかりのある方からの写真で、カウントダウンを実施します。カウントダウンの参加者を募集してい

ますので、ぜひご参加いただき、一緒に市制施行70周年をお祝いしましょう。加えて、市制施行70周年記念事業として、「三木の祭り屋台大集合」の実施に向けて調整を進めています。三木市が誇る文化資源「祭り屋台」が一堂に集い、交流し、ともに祝いすることで、人と人とのつながりを深めるとともに、次世代に文化を継承し、市の活性化につなげてまいります。

このように、チーム三木が一体となり、市制施行70周年をお祝いし、盛り上げていきたいと考えています。これまで先人たちが築き上げてきた70年の歩みを次の世代に引継ぐとともに、市民の皆さまの絆を深め、地域の連帯意識の向上及び地域コミュニティの活性化につなげてまいります。

昨日、兵庫県教育委員会により、令和7年度の県立高等学校発展的統合に関する実施計画が公表されました。三木市においては、三木北高等学校、三木東高等学校、吉川高等学校の発展的統合により、新たに三木総合高等学校が誕生することになりました。現在の三木東高等学校の校舎・施設を使用して、特色ある総合学科の高校、三木総合高等学校が令和7年度からスタートいたします。三校の多様な学びを継承・発展させ、より多彩な学びの中から生徒が主体的に学ぶことができる教育環境の実現を目

指した新たな総合学科です。三木市としましては、現在の県立高校四校はもちろん、新しい三木総合高等学校においても、子どもたちがより良い学びを確立していくことができるよう期待しています。

師走を迎え、今年1年を振り返りますと、みっきいふれあいマラソン、山田錦まつり、みっきい夏まつりなどのイベントや地域活動が復活し、5月には新型コロナウイルス感染症が5類に移行しました。市民の交流が活発化し、各地に笑顔が溢れ、三木のまちは、コロナ禍前の元気な姿を取り戻しつつあります。地域の活力を生み出そうと力強く取組を進めておられる市民の皆さまとともに、市としまして「誇りを持って暮らせるまち三木」の実現に向け、まちづくりを進めてまいります。

年の瀬もいよいよ押し迫り、本年も余すところあとわずかとなってまいりました。

議員の皆さま、市民の皆さまには、どうか健やかなる新年をご家族お揃いでお迎えになられることをご祈念申し上げ、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。